



平成27年3月20日
飯田 出 張 所
用 賀 出 張 所
号 者 局
任 行
94 貴 務
第 発 専

PTA活動を ふり返って

桜町PTA会長 武田素子
この三月、三男と共に私も十四年間お世話になった桜町小学校を卒業いたしました。

PTA活動を通して、子どもたちが先生方や保護者だけでなく、地域の方々などいかに多くの皆様に見守られていくのを知ることができました。

桜町小では児童が八一二名も在席しています。多くの子どもたちがのびやかに楽しく過ごせる環境を整え、維持していくためには、学校・保護者・地域の連携が不可欠です。お互いが、トライアングルのように支え合うため、出合いを大切に、絆を深めるお手伝いが出来たらと思います。PTA会長をお受けしました。

思いばかりで力及ばずでしたが、人と人とのつながりの素晴らしさをあらためて学ばせていただき、心より感謝しております。



PTA活動に関して

京東PTA会長 橋本敦子
桜の開花の時期を迎えました。振り返れば、一年前の今頃は、小学生の保護者としてどのように取り組んでいたか？と試行錯誤していたように思います。

PTA活動を通して、学校・保護者・地域の皆さまの慈愛に触れ、改めて親であることに喜びと誇りを感じています。

子育て真っ最中の立場でPTA活動に携わることは、家族の理解、時間をやりくりする苦労もありますが、それ以上に相互理解、相互協力の大切さを体感できる貴重な機会となっています。温かいお力添えに感謝しております。

PTA活動にかかわって



地域の中の小学校
瀬田PTA会長 田中智之
昨年の四月より、瀬田小学校のPTA会長を務めてきて頂いております。

それまでは、瀬田小おやじの会の会長として、町会、商店会をはじめ、地域の皆さまと一緒に、子供達の安全を見守り、楽しいイベントのお手伝いをして参りました。

今年は少し違う立場となり、地域の方々と接する機会が増え、改めてこの瀬田という町は、学校と地域が一つになっていると感じています。

今後PTA活動を通じて、地域の方と安心、安全な町づくりに協力していきたいと思っております。

チーム用賀の団結力

用賀小PTA会長 後藤文男
用賀小では学校行事が多く、PTA活動が盛んに行われています。

私もPTA会長になる前は、おやじの会で活動していました。学校の行事は父親の出番も多く、春には側溝掃除、夏には校庭にやぐらを組み夏祭りの舞台作り、冬にはもちつき大会を実施しています。

用賀小では子供たちを中心に、先生方や、保護者、地域の方々の協力体制がしっかりとれています。

今後も「チーム用賀」の団結力を継続し、さらに年代を超えて絆が受け継がれ地域の活性化につなげていけたら、と願っています。

沢山の感謝

三雲PTA会長 小田直子
学校に足を運ぶ機会が少しだけ増えた二年間。

色々な場面で、子ども達の様々な表情やがんばりを目にするのができたのが楽しかったです。子ども達の成長には、ベースとなる家庭での働きかけは勿論のこと、一日の中、多くの時間を過ごす学校での様々な経験が必要です。

時代の変化と共に先生方に求められる事も多く大変です。先生方が頑張って下さっている姿を沢山目にしました。

又、地域の皆様からも子ども達が経験する様々な機会を頂いています。

沢山の「感謝」を感じた二年間でした。

木洩れ日

飯田恭次

いよいよ少子高齢化時代の到来。日本の人口が減り始めたのは十年前、第三次小泉内閣の頃。その後、政権は安倍、福田、麻生、鳩山、菅、野田、第二次安倍と目まぐるしく変わりました。そして、あの東日本大震災より早四年、川の流れの様子は過ぎて行きますが被災地の傷跡は、未だ大きく残っています。

今年には戦後七十周年、昭和二十年三月の東京大空襲、沖縄戦、広島、長崎の原爆投下等々の記憶を新たに、平和の尊さを皆で確認し合う必要があるのではないのでしょうか。

これからの十年……五年後の東京オリンピック、私たちの町では上野の馬事公苑が馬術競技場に内定しました。馬事公苑は戦前、昭和十五年開催予定だった幻の東京オリンピック馬術会場、この大会は日中戦争等の為、中止となり、戦後、昭和三十九年第十八回オリンピック東京大会の時、晴れて馬術競技場として使用されました。そして今回、実質、三度目の会場、馬事公苑は静かに昭和、平成の時の歩みを見守っていると言えます。

東京オリンピックのお祭りが終り五年後、私たちは「昭和百年（平成三十七年）」と云う年を迎えます。

その時あなたは……

世田谷区のホームページでもご覧いただけます。

用賀出張所 ひろば

郷土紹介

大山道のあしあと

平田良孝

江戸の都市づくりが進む中で郊外への天領は一部、旗本や大名にも与えられ、世田谷地域の十五ヶ村は寛永十年（一六三三）、彦根藩井伊家の所領となります。

その代官職には、旧世田谷吉良氏の家臣、大場市之丞が就任、代々世襲します。が、元文四年（一七三九）、年貢未進事件が起り、任を解かれます。

代って、世田谷村の名主大場六兵衛と用賀村の名主飯田平兵衛の二名が代官になります。

時、あたかも江戸市中より大山詣でが盛んになって行く頃、彦根藩世田谷領の

二人代官制採用は、結果的に領内の道路整備、道標設置、沿道開発を促す事になります。

矢倉沢往還は、新たに磁巻、用賀、瀬田の村々を通って二子の渡しに向う道も出来て、その追分に、右、登戸道、左、大山道と刻む石標が延宝三年（一七四六）に建ちました。

又、三軒茶屋から直接、用賀村へ向う新道には、不動尊座像を乗せた道標、この石の台座に『相州大山道』、右側に富士、登戸、世田谷通りと云う字が刻まれました。この石標は道路拡張の際、一時、他の場所に移されていましたが、今、現地に戻っています。



身近な福祉の困り事

相談窓口

玉川地域社会福祉協議会

林 憲一郎

平成25年度から、玉川地域社会福祉協議会の用賀地区を担当しています。

地区担当の仕事は初めてですが、地域で活動されている方々と日々接しながら充実した毎日を送っています。

この用賀地区では、

お気軽にどうぞ

今年の7月から、用賀出張所・あんしんすこやかセンター・社会福祉協議会が連携して、高齢者・子育て・障害者の身近な福祉に関する相談の場として、「地域包括ケア」のモデル事業をスタートさせます。

具体的には、社会福祉協議会では、近所の方と気軽



03-3702-7777

ひとり語りふるさと

用賀三丁目 小倉紀太郎

ふるさと、何と誰にも、心にひびく懐かしい言葉です。赤城・妙義・榛名の三山のある群馬県が父の故郷で、赤城山の麓の宮城村です。

わが故郷



赤城山には大沼・小沼があり、春は桜の南面桜、夏はキャンピング、ハイキング、秋はつじが咲きほこり、冬はワカサギ釣り。NHKテレビの朝ドラ「マッサン」も、本島から北海道の余市にと、皆さんそれぞれ的人生がありますね。父、茂が、母、すみ江と東京に来てから、私が用賀で生まれ、七十有余年。後期高齢者目前です。子供の頃には、現在、用賀

賀取のあるSBSビル等が建ち並んでいる所は、玉電「現、東急田園都市線」の線路の引込み線があったり、その周りを一帯は畑でした。夏に大雨が降ると、谷沢川に続くドブ川が溢れて、畑が水に浸かって、それが肥料分となって、トウモロコシ等、栄養タツアリの人の背丈の倍ぐらいに大きく成長。冬はたこ揚げしたりしましたよ。小学生の時には、多摩川での飯盒炊飯等も。現在、用賀の町の周りには、馬事公苑、都立砧公園、美術館、地域の家々の緑の木々、草花等が多く見られ、ゆるやかに落ちついた町、「用賀」が我が町、我が家「ふるさと」です。

スポーツ

三子玉川花みず木フェスティバル

4月29日(祝)

兵庫島公園ほか

花みず木フェスティバル

実行委員会

春の全国交通安全運動

5月11日(月)から

5月20日(水)

フラワーランドの集い

5月16日(土)

17日(日)

瀬田フラワーランドにて

フラワーランド実行委員会

「せたがや花マップ」で

お散歩を。

区内の花のみどころと

イベント情報満載です。

出張所・まちづくりセン

ター・図書館で配布しま

す。(3月下旬より配布予定)



桜の開花の便りが届く季節となりました。

間もなく、小さな身体にま新しいランドセルを背負ったピカピカの一年生が、元気いっぱい通学する姿が見られます。

又、多くの若者が大きな期待と不安を胸に、大人社会へと旅立つ春です。

長い人生には、大きな節目が有ります。

三月、四月はこれからの人生に、多分に影響ある出会いや別れがある節目の時ではないかと思われま

